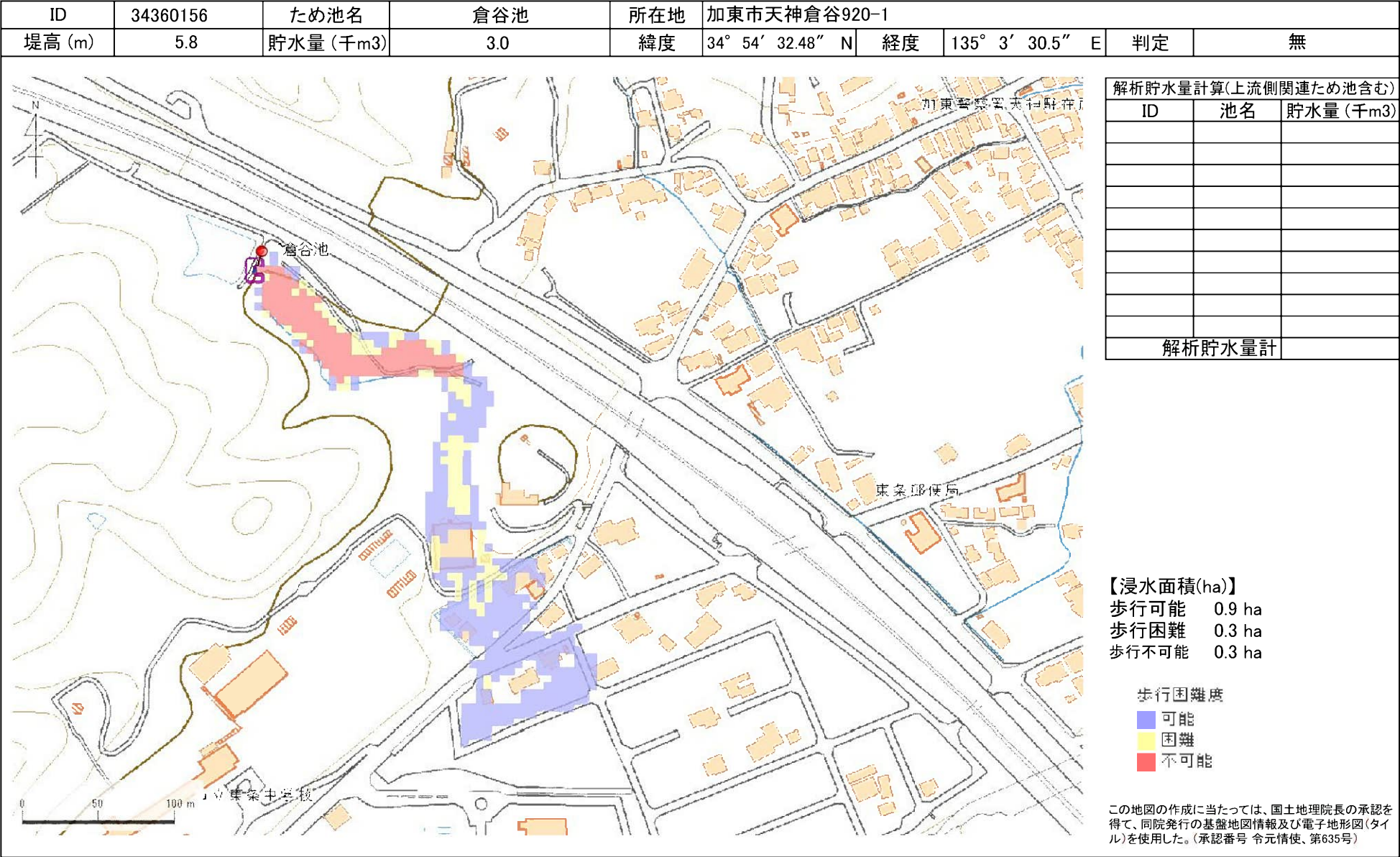
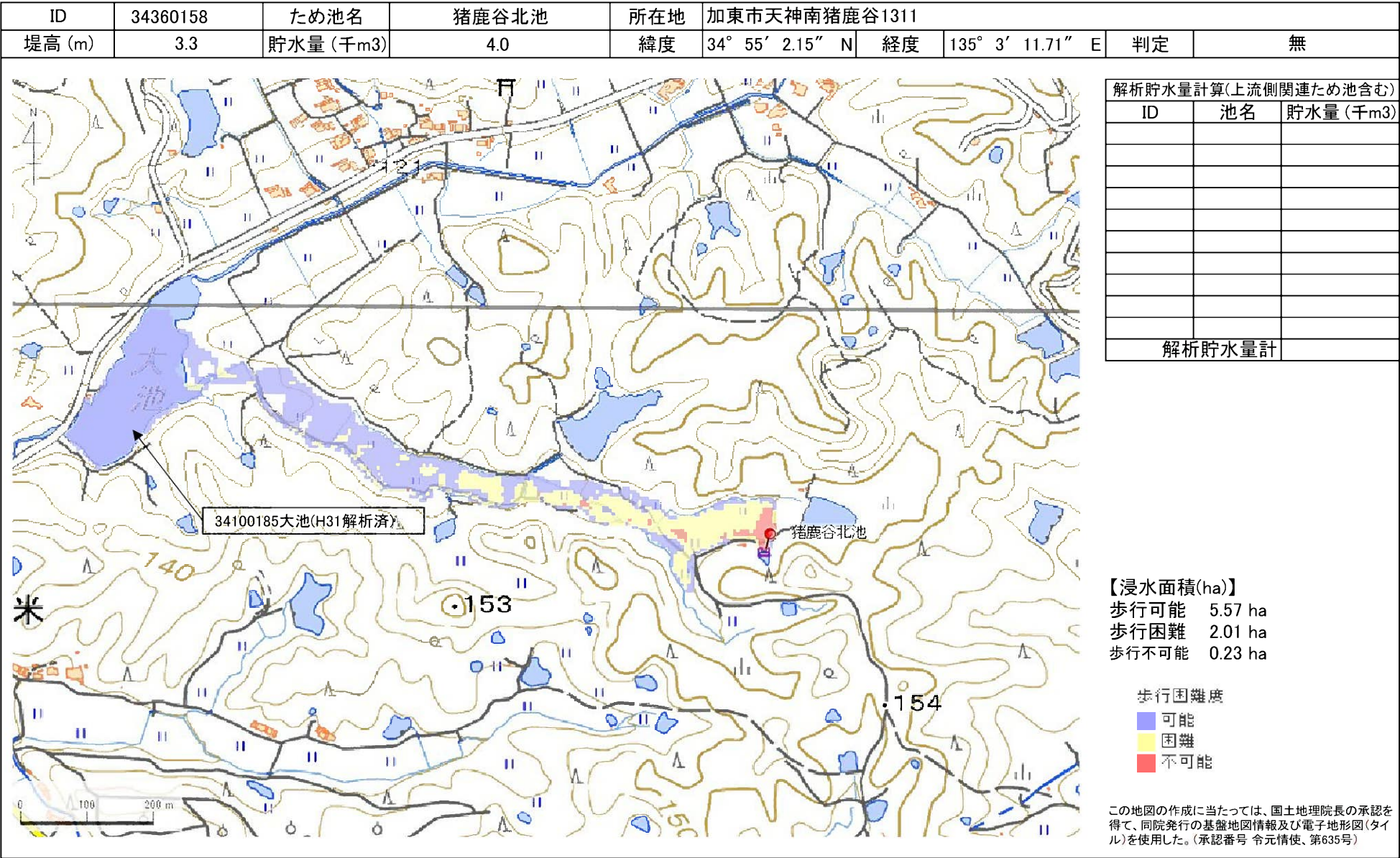
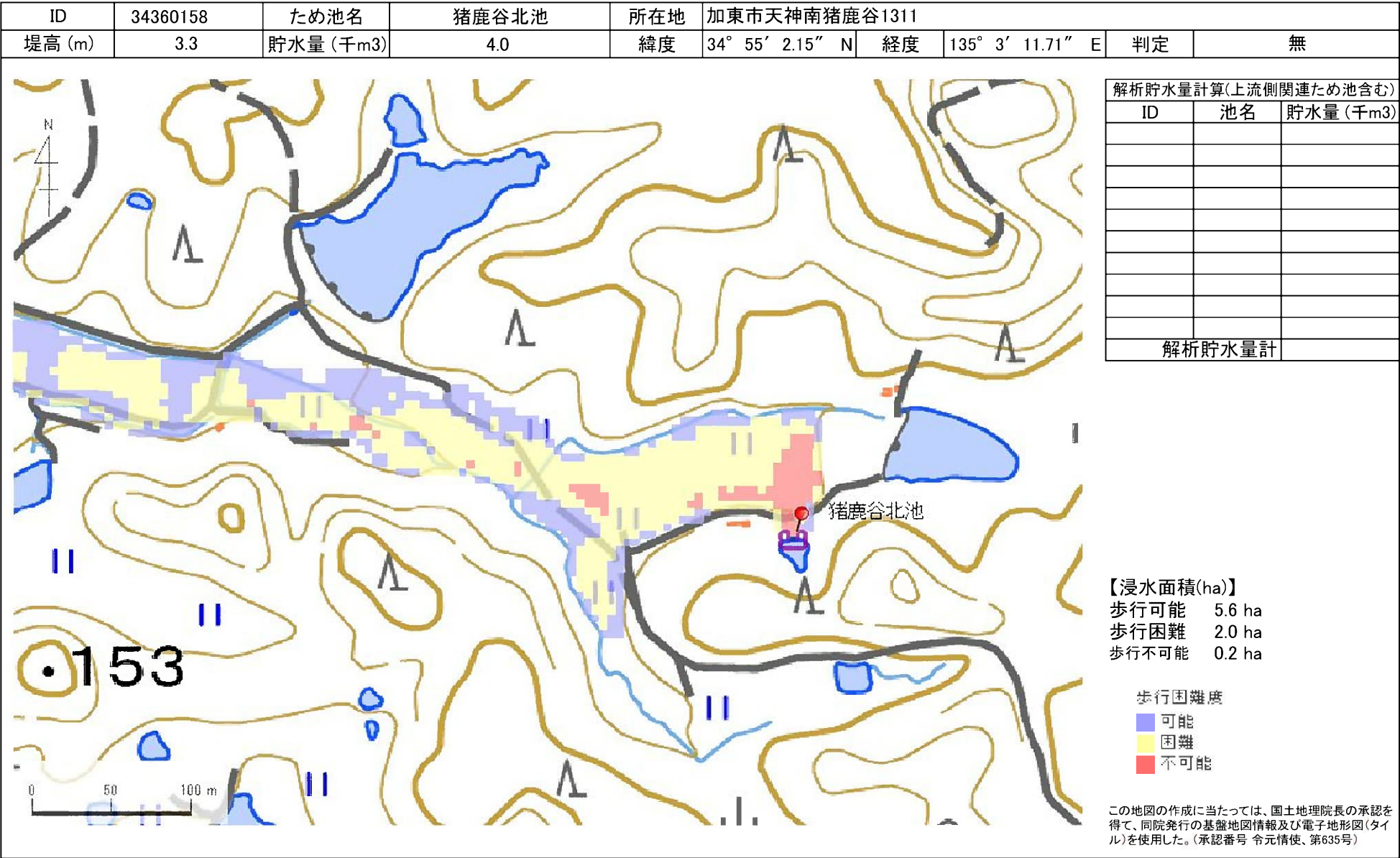
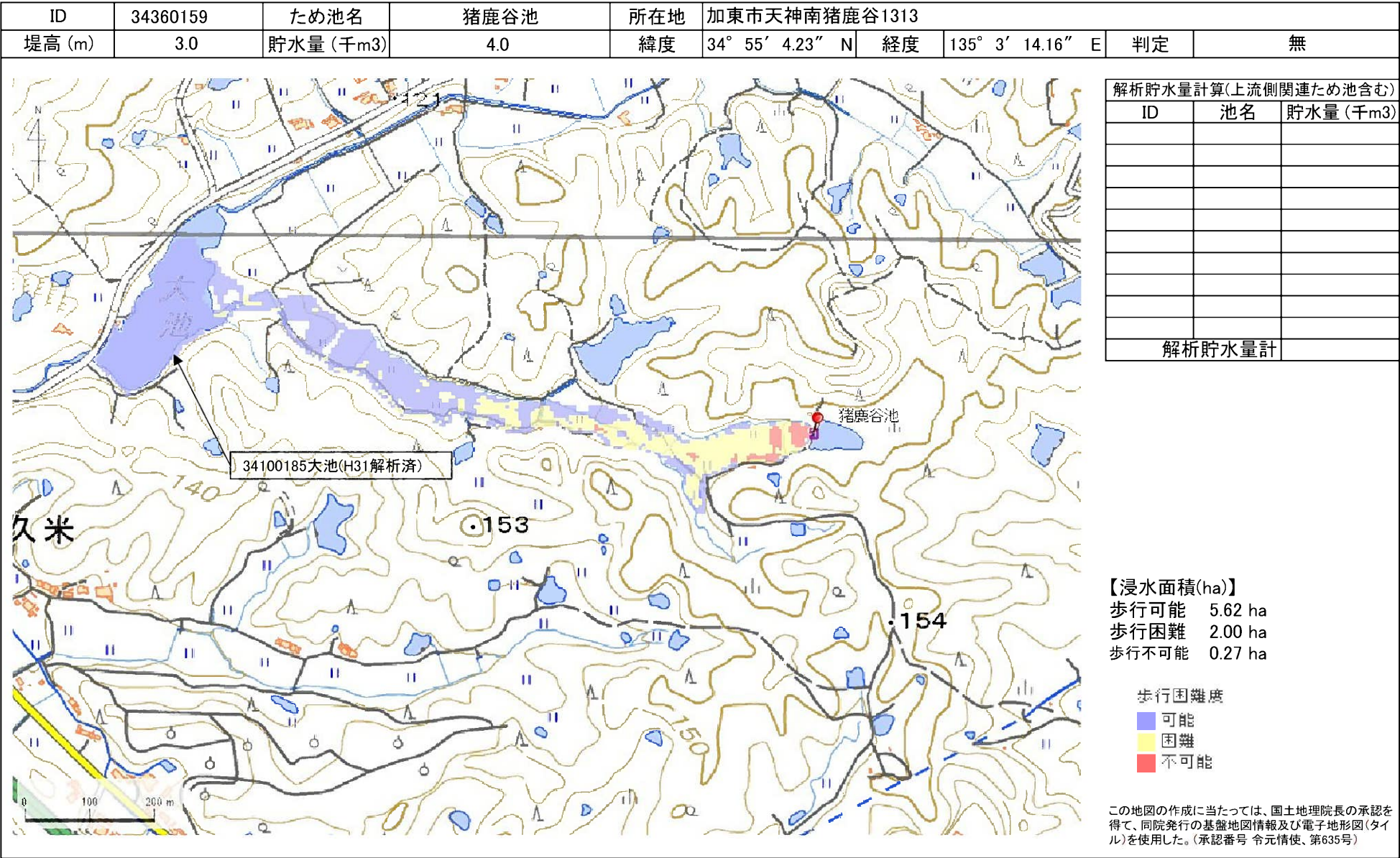
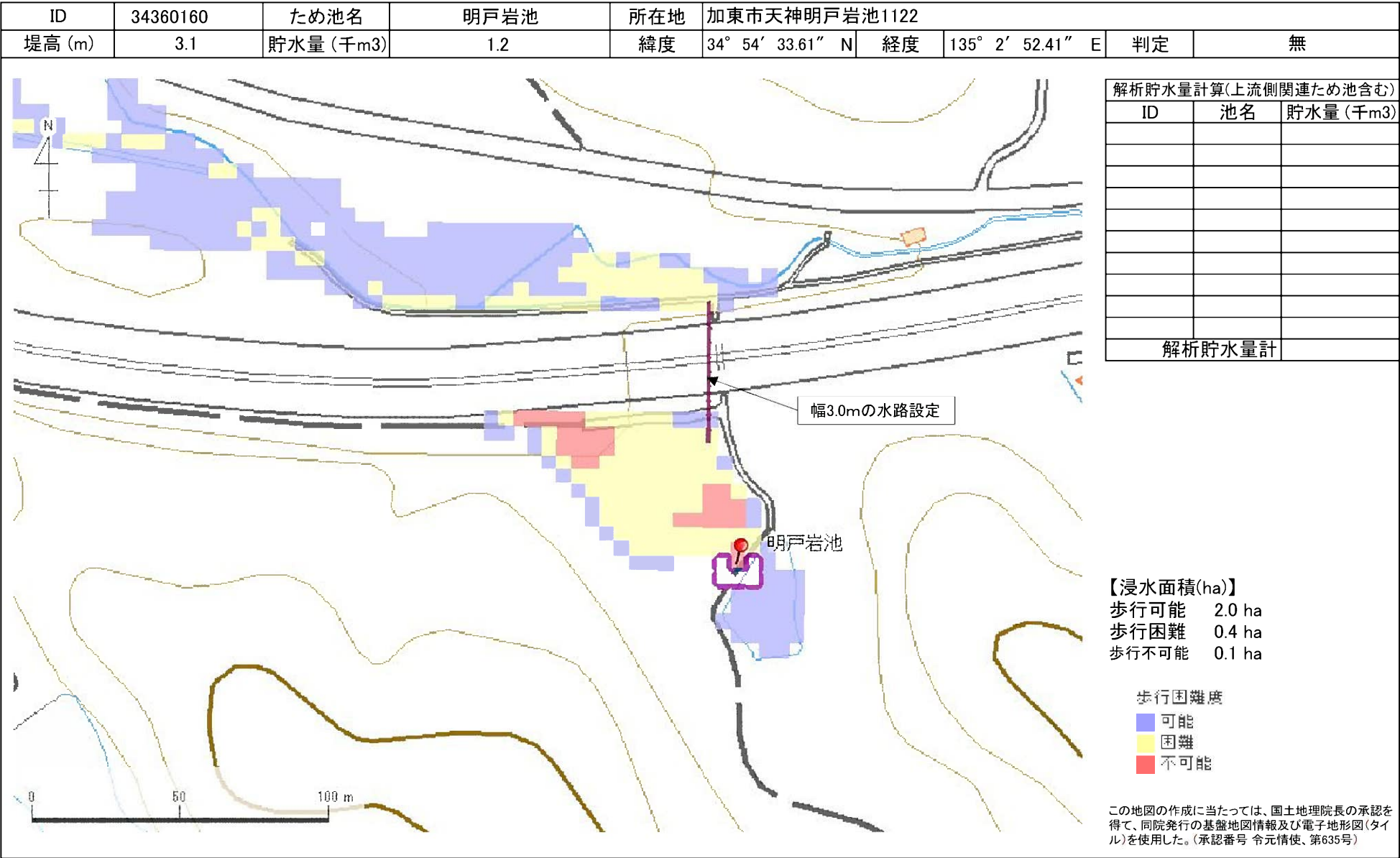




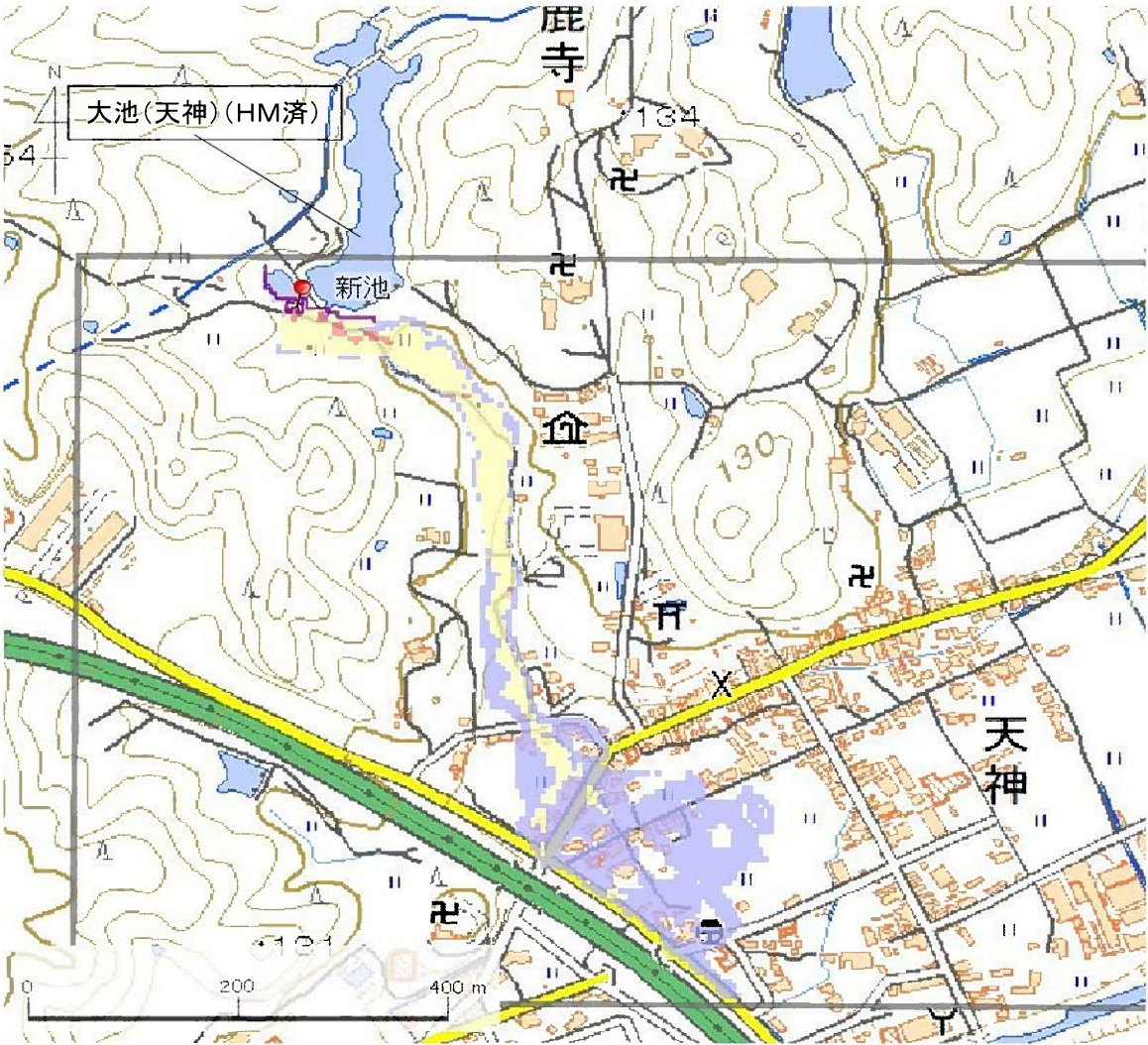








ID	34360162	ため池名	新池	所在地	加東市天神佛坂846				
堤高 (m)	3.5	貯水量 (千m3)	1.5	緯度	34° 54′ 49.24″ N	経度	135° 3′ 32.25″ E	判定	無



解析貯水量計算(上流側関連ため池含む)

ID	池名	貯水量 (千m3)
解析貯水量計		0.0

【浸水面積(ha)】

歩行可能 3.5 ha
歩行困難 1.7 ha
歩行不可能 0.1 ha

歩行困難度

- 可能
- 困難
- 不可能

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使、第326号)

ID	34360162	ため池名	新池	所在地	加東市天神佛坂846				
堤高 (m)	3.5	貯水量 (千m3)	1.5	緯度	34° 54′ 49.24″ N	経度	135° 3′ 32.25″ E	判定	無

解析貯水量計算(上流側関連ため池含む)

ID	池名	貯水量 (千m3)
解析貯水量計		0.0

【浸水面積(ha)】

歩行可能 3.5 ha
歩行困難 1.7 ha
歩行不可能 0.1 ha

歩行困難度

- 可能
- 困難
- 不可能

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使、第326号)

ID	34360162	ため池名	新池	所在地	加東市天神佛坂846				
堤高 (m)	3.5	貯水量 (千m3)	1.5	緯度	34° 54′ 49.24″ N	経度	135° 3′ 32.25″ E	判定	無

解析貯水量計算(上流側関連ため池含む)

ID	池名	貯水量 (千m3)
解析貯水量計		0.0

【浸水面積(ha)】

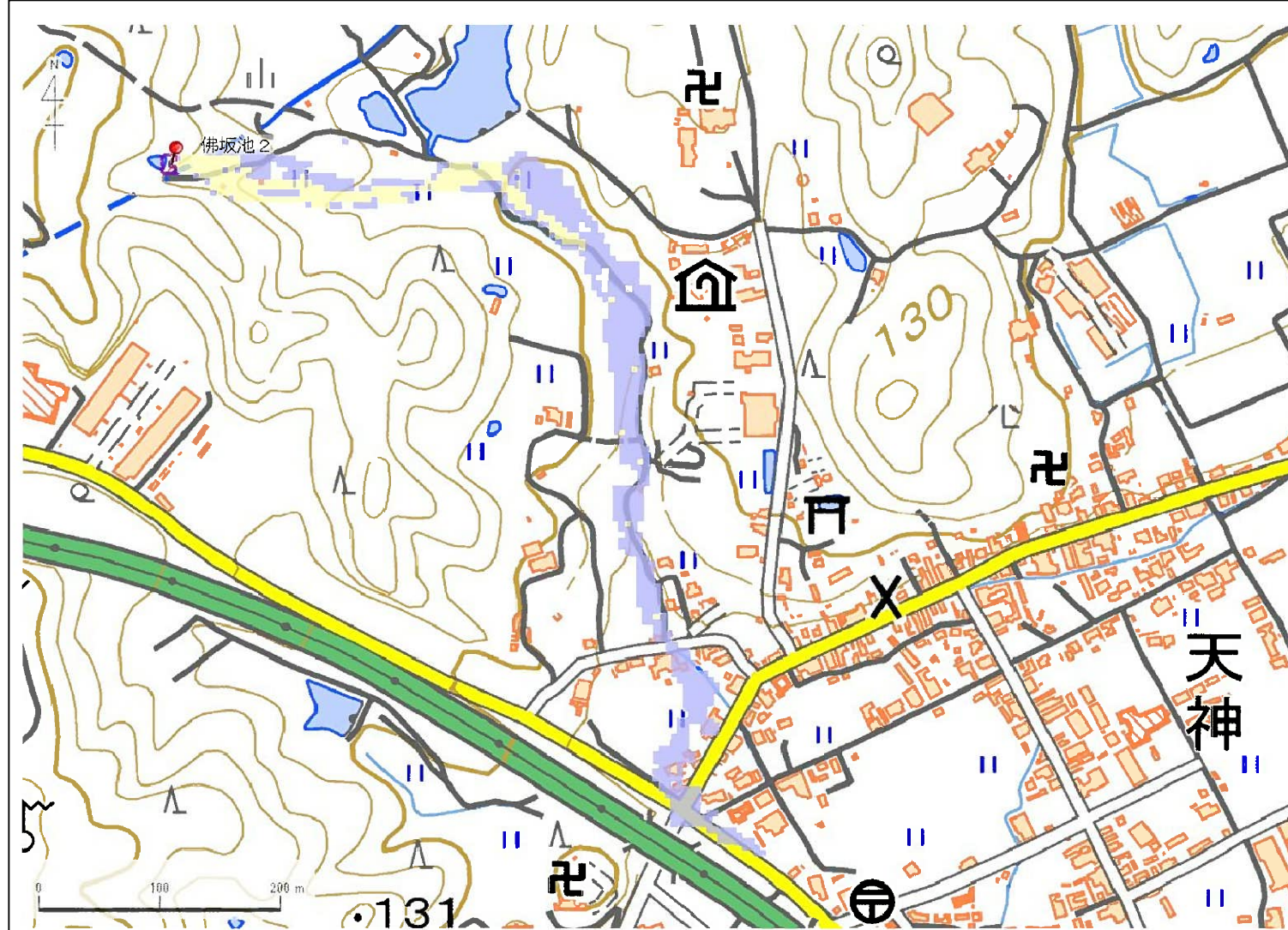
歩行可能 3.5 ha
歩行困難 1.7 ha
歩行不可能 0.1 ha

歩行困難度

可能
困難
不可能

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使、第326号)

ID	34360163	ため池名	佛坂池2	所在地	加東市天神佛坂873				
堤高 (m)	2.3	貯水量 (千m3)	0.1	緯度	34° 54' 47.37" N	経度	135° 3' 28.26" E	判定	無

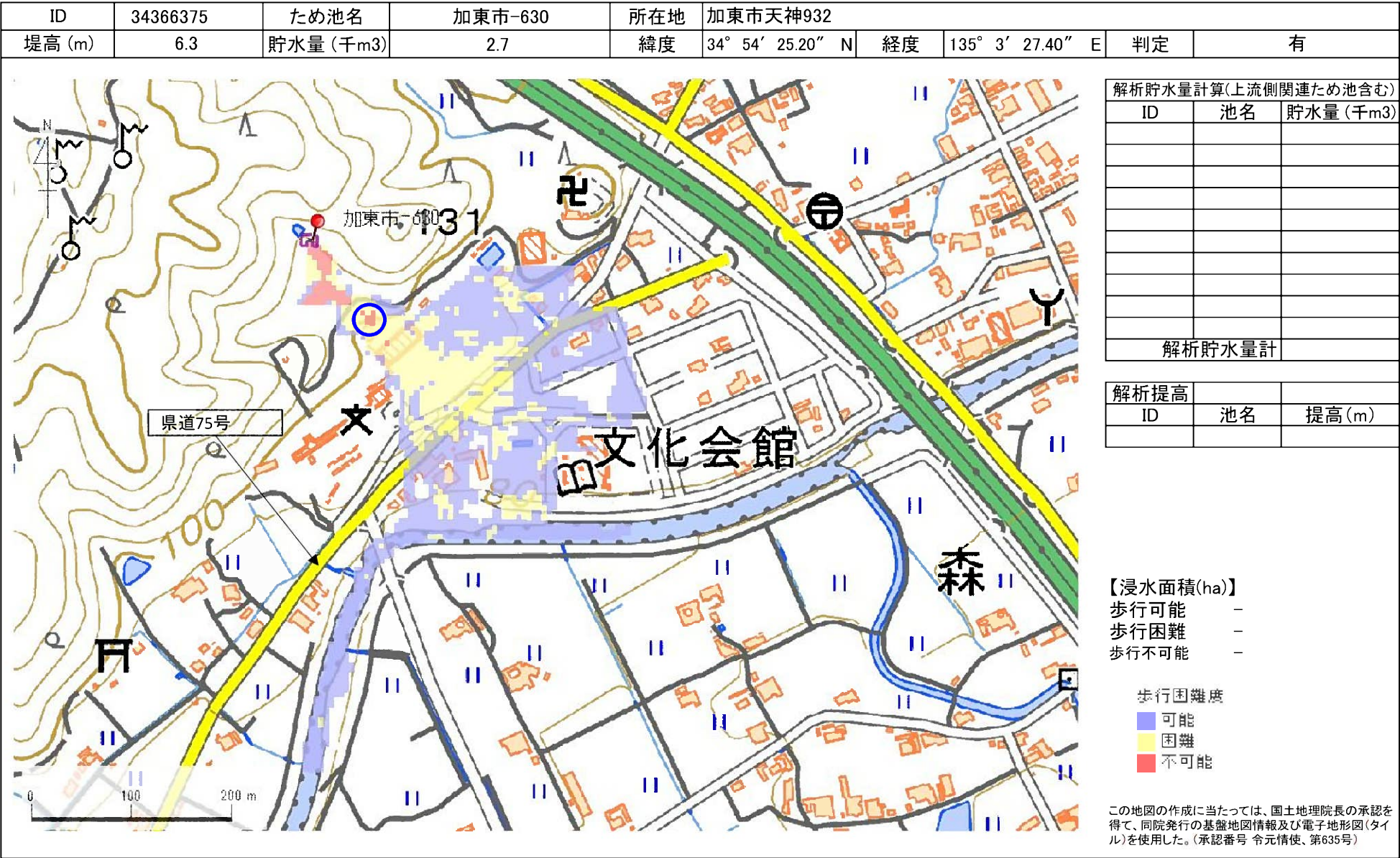


解析貯水量計算(上流側関連ため池含む)		
ID	池名	貯水量 (千m3)
解析貯水量計		

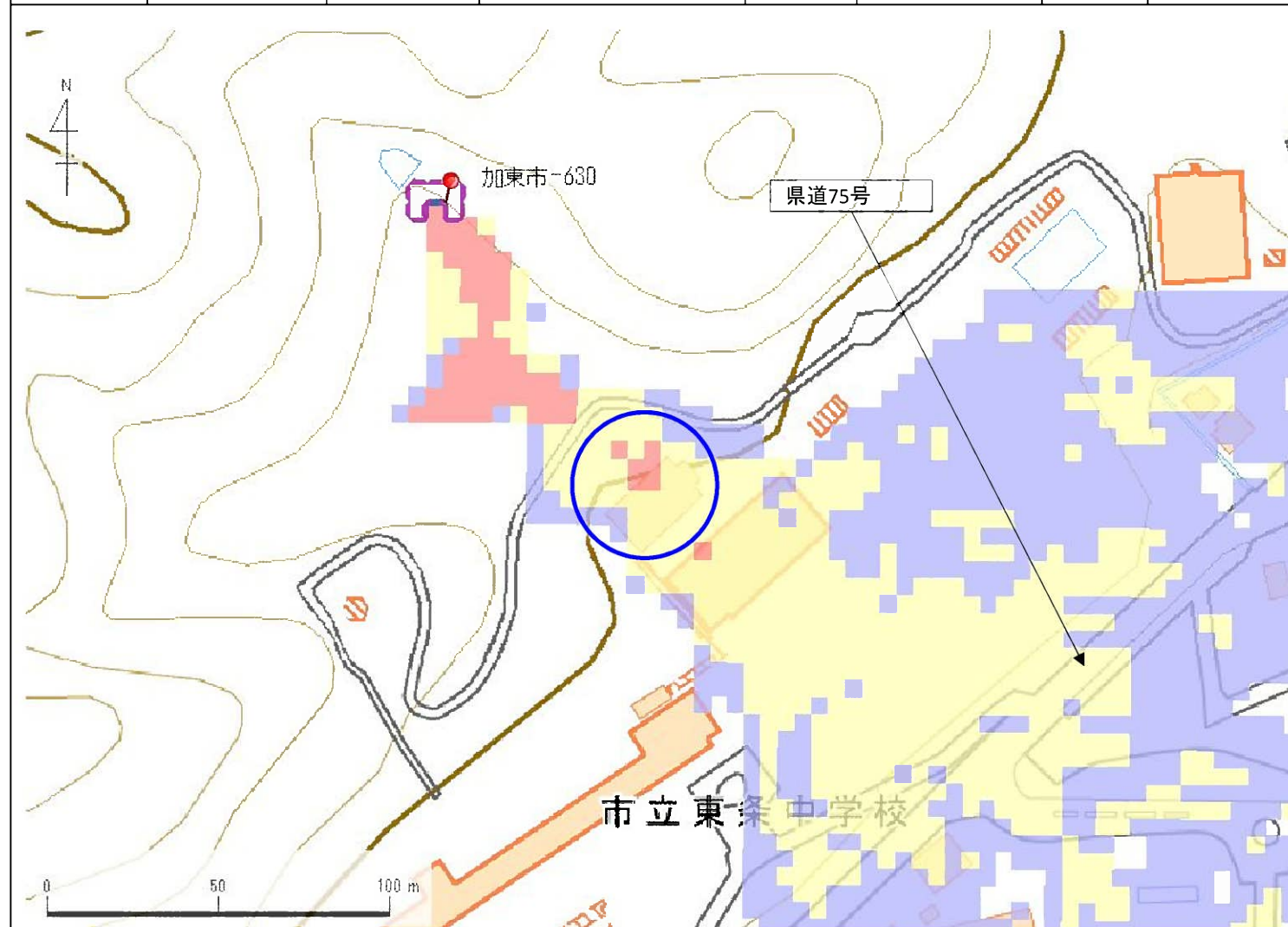
【浸水面積(ha)】
 歩行可能 1.8 ha
 歩行困難 0.6 ha
 歩行不可能 0.0 ha

歩行困難度
 可能
 困難
 不可能

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使、第635号)



ID	34366375	ため池名	加東市-630	所在地	加東市天神932				
堤高 (m)	6.3	貯水量 (千m3)	2.7	緯度	34° 54' 25.20" N	経度	135° 3' 27.40" E	判定	有



解析貯水量計算(上流側関連ため池含む)

[illegible]

解析貯水量計

解析提高		
ID	池名	提高(m)

【浸水面積(ha)】

步行可能 —
步行困難 —
步行不可能 —

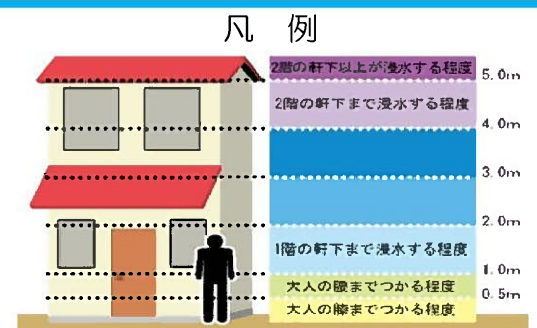
步行困難度

■ 可能
■ 困難
■ 不可能

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報及び電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 令元情使、第635号)

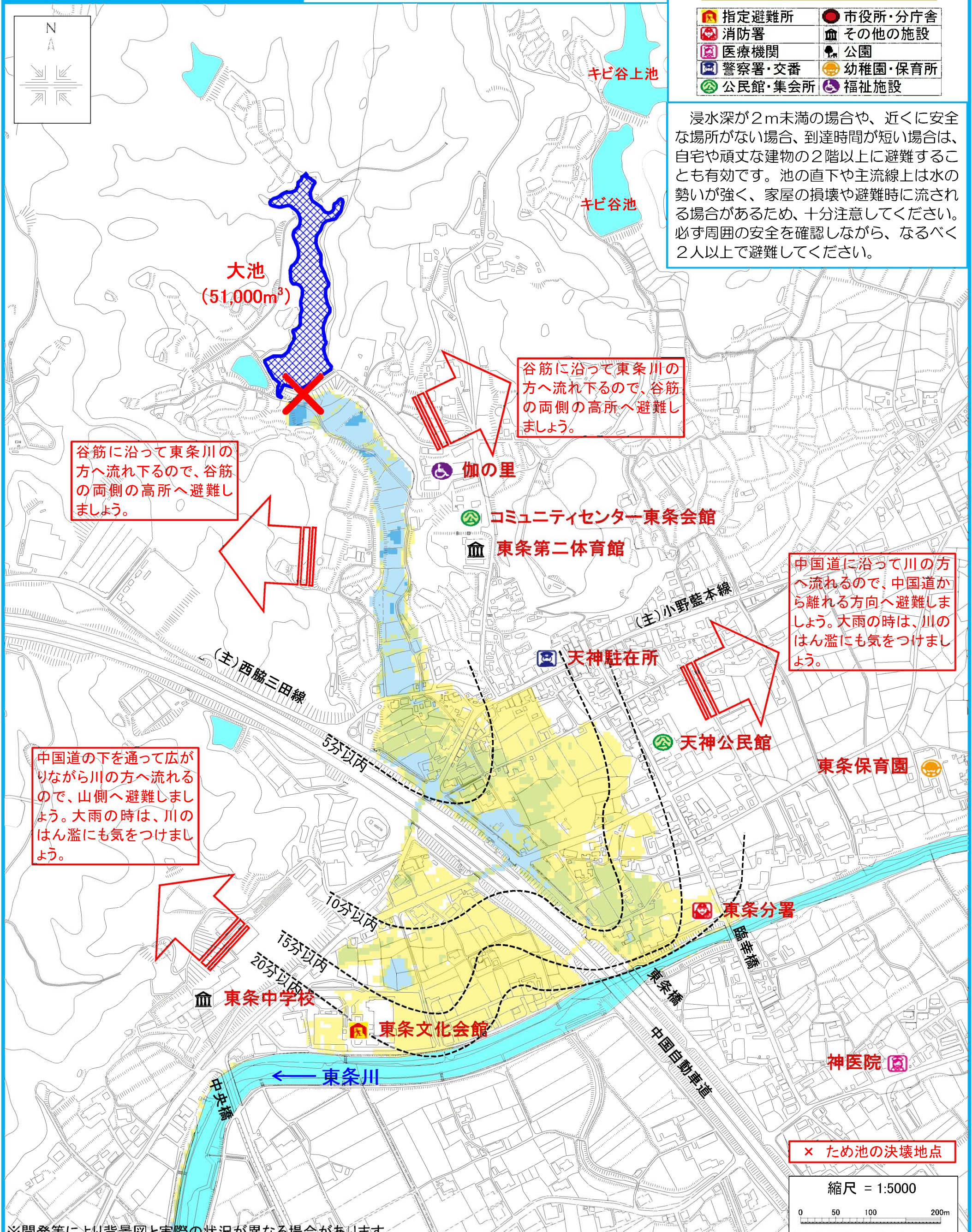
大池
(天神)

このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池が満水の時に貯水量が瞬時に流出する状況を想定し、浸水の深さの最大値とおおよその到達時間、避難方向の目安を示しています。表示されている範囲以外の浸水や、特に河川や水路沿いでは到達時間より早く被害が発生する場合があるので注意してください。



 指定避難所	 市役所・分庁舎
 消防署	 その他の施設
 医療機関	 公園
 警察署・交番	 幼稚園・保育所
 公民館・集会所	 福祉施設

浸水深が2m未満の場合や、近くに安全な場所がない場合、到達時間が短い場合は、自宅や頑丈な建物の2階以上に避難することも有効です。池の直下や主流線上は水の勢いが強く、家屋の損壊や避難時に流される場合がありますため、十分注意してください。必ず周囲の安全を確認しながら、なるべく2人以上で避難してください。



※開発等により背景図と実際の状況が異なる場合があります。